

ふれあい

2017

2

No.359

牛久愛和総合病院 広報誌



血液透析の歴史

特任副院長兼透析センター長兼腎臓内科部長 中村 日出子



今回は透析療法の歴史について少しお話しさせていただきま

す。

透析の歴史は、19世紀中頃にスコットランド人のトーマス・グレアムが半透膜を発見した処からはじまります。半透膜とは、水の様に分子量が小さい物は通り抜けられるが、固体物など分子量の大きい物は通り抜けられない膜です。1913年にアメリカ人のアベルが薬物中毒の治療にこの半透膜を使用し、医療への応用が開始されました。その後、第二次世界大戦と朝鮮戦争中、爆撃によりクラッシュ症候群（挫滅症候群）を起こし、急性腎不全で亡くなる人が増えました。この治療のため、透析技術が進歩しました。1945年、オランダでコルフ医師がドラム式

コイル型の人工腎臓を使用し、

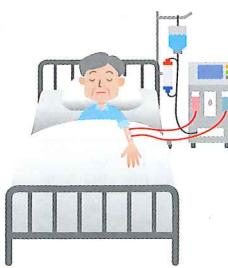
初めて急性腎不全の患者さんの

救命に成功しました。

我が国でも1956年に稻生医師らが急性腎不全の患者さんにお手伝いを行い、救命に成功しています。1960年頃から慢性腎不全の患者さんにも透析療法がある程度可能になりましたが、当時の透析技術は未熟で、長期延命は困難でした。さらに健康保険が使えず、月100万円以上の医療費が必要だったため、限られた患者さんだけしか透析を受けられませんでした。1967年に透析療法が健康保険の適用となりましたが、当時大卒の初任給が4万円程度、透析医療費は月10～20万円の自己負担が必要でした。1968年には215人だった透析患者さんが1971年には1826人に増えましたが、高額な自己負担金と透析機器の不足で、透析を受けられずに亡くなる患者さんも多かった様です。当時の患者さんと御家族・透析医療関係者の努力により、1972年に身

上限とする高額医療費制度が新設され、さらに医療費の自己負担が軽減されました。そして急速に透析治療が普及して行つたのです。

1990年に10万人だった透析患者さんは、2015年には32万人を超えるました。日本の透析医療は世界一だと認められています。それは、しっかりと医療保険制度があり、誰でも十分な治療を受けられる事に根ざしていると思います。透析医療には年間1兆円を越す医療費が使われています。これからは、医療経済を圧迫し、治療レベルを落とさないために、腎不全の原因となる糖尿病などの生活习惯病を予防する事がますます大事になつてくると思いま



春秋園だより



今回は、リハビリで行つて
いる、集団体操についてご紹
介したいと思います。

集団体操は、毎週2回、A
班とB班に分かれて行つて
います。A班は比較的ご自分で
動くことが好きであり、自
主的な参加ができる方と行つ
ています。B班は動くことに
多少のお手伝いや個別の声掛け
が必要な方と行つています。

A班は15名前後、B班は5名
ほどで行つており、毎月テー
マを変えて体操をしています。
最近のものでは、風邪予防
体操の1つとして、呼吸体操
を行いました。肩や首回りの
中になってしまふ方が多く、
普段の動きより数段動きが良
くなるようです。

2月はジェスチャーゲーム
を取り入れた体操を予定して
います。皆さんが楽しんで取
り組むことが出来るように、
ゲーム要素を取り入れながら、
季節性を意識した体操を提供
していきたいと思います。

(春秋園リハビリ一同)

筋肉を動かし、血液やリンパ
の循環を促進します。また声
出しや顔面、口腔内の運動を
行う事により、唾液の分泌を
促進させ、風邪に負けない身
体作りを目指しました。

1月のテーマは「お正月と
節分」なるべくその時の季節
に合わせた運動を提供してい
くため、2つのテーマをあげ
てみました。

1月前半はお正月の気分を
味わつていただこうと思い、
風船を羽子板にみたてたラケ
ットで打ち合うゲームを取り
入れました。後半は節分行事
で行う豆まきの練習のために、
玉を投げる動きを取り入れた
運動を行いました。

皆さん、ゲームになると夢
中になってしまふ方が多く、
普段の動きより数段動きが良
くなるようです。

点検業務も行つていま
す。手術室機器や使
用していない機器の保守
点検業務も行つていま
す。

部署紹介

臨床工学科

副科長 小酒井 唯起



第62回 生活習慣病教室

テーマ
ペットと安心して

生活するために
人畜共通感染症の
基礎知識

日 時 平成29年3月17日(金)
14時30分から約1時間

講 師

特任副院長・血液内科部長

瀬口 雅人 医師

会 場 牛久愛和総合病院
B館2階 大ホール

参 加 費 無料

事前予約は不要です。興味
のある方は、お誘いあわせの上、
ぜひご参加ください。



○お問い合わせ先
牛久愛和総合病院 総務課
029-873-3111(代)



平成28年度院内感染対策講習会（後期）
日時：平成28年12月5日（1回目）
平成28年12月9日（2回目）
テーマ：「血中ウイルス感染対策」
講師：ファイザー株式会社
石塚 信介 氏

12/5・12/9

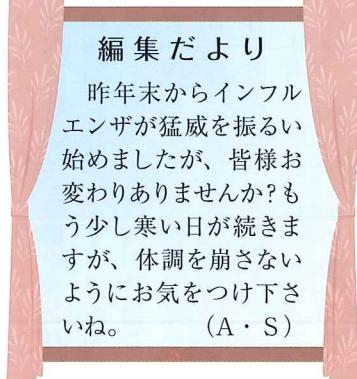
地域医療を担う医療機関として、患者さんや訪問者に対して、更に、職員一人ひとりが、感染対策の知識を深め対応出来るようにしていただきたいと思います。
（院内感染対策室・岩淵）

バザー

12/24

後期の講習会は「血液ウイルス感染対策」として全職員を対象に実施しました。特に、血中ウイルスの中でも、B型肝炎ウイルスは感染力が高く、針刺しや粘膜暴露後などでは、約30%と高い感染率があるということを学びました。特に、血液・体液による汚染が生じた際や排泄物の廃棄方法では、手袋の着用や汚染を防ぐためのマスク・ガウン等を着用した対応についての必要性を改めて重要であることを学びました。今回の講習を受講したことにより、専門職だけでなく、一般職員をはじめ病院で働く職員は、常に接触や飛沫感染対策を考慮した対応が要求されます。

（父母会長 倉持恵美子）



編集だより
昨年末からインフルエンザが猛威を振るい始めましたが、皆様お変わりありませんか？もう少し寒い日が続きますが、体調を崩さないようにお気をつけ下さいね。（A・S）

病院理念 我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 489床（一般391床 医療療養型55床
地域包括ケア43床）

施設

敷地 59,449.60m² 駐車場 1151台



日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

関連施設

総合健診センター

Tel 029-873-4334

健康増進施設 スポーツリラックス

Tel 029-874-8791

介護老人保健施設 春秋園

Tel 029-870-3100

